

第11回 演習課題への挑戦(4)

今後のスケジュール

第11回 (2011-06-29)	レポートのタイトルを決定して、レポートの方針を決める
第12回 (2011-07-06)	レポートに必要な資料を収集して、整理する レジュメ（下書き）を作成して、提出する
第13回 (2011-07-13)	自分のレポートを作成して、添削を受ける
第14回 (2011-07-20)	レポートを完成して、提出する プレゼンテーションの練習をして、その内容を見直す
第15回 (2011-07-27)	最終のプレゼンテーションして、内容をお互いに評価する

レポートを作成する

レポートとは

- 感想文は、自分の経験や自分の気持ち・感情を書き表したもの（主観的な見方）
 - 印象に残った事柄・文章とその理由を述べる
 - 「もし自分なら」「こういう状況なら」など仮定して考えてみる
- レポートは、調査や実験の結果わかった『事実』と、それに基づく自分の『意見』をまとめたもの
 - 事実：内容が本当かどうか（真か偽か）客観的に確かめられる
 - 意見：書き手の考え（判断、推測）をあらわしている（客観的な事実に基づく）

レポート作成の手順

タイトルの決定から資料の収集へ

1. 背景の把握

- 大まかなテーマに関する基本的な情報を集める（新聞、インターネット、事典など）
- テーマとなっている問題や課題について、全体像や大まかな内容を理解する

2. 問題提起

- (与えられた) 大きなテーマから、具体的なテーマに絞り込む
- 社会的な問題点や疑問点、興味・関心のあるの具体的な事柄、また明らかにしたいと思う事柄を明確にする

3. 仮説の提示・主張

- それらの事柄への対応策・解決策に関する自分なりの考えを仮説として述べる
- また、調査や研究の必要性やその方針を検討する

4. 主題（表題）の決定

- 問題提起や自分の仮説（主張）をもとに、その主張や内容が伝わる、具体的なタイトルを考える

5. 資料の収集・整理

- 問題とした事柄や自分の仮説（主張）を裏付けるような、資料を収集する
- 専門図書や雑誌・論文など、具体的なテーマに関する文献（先行研究、参考文献）を集めて、整理する

6. レポートの構成の検討、テーマの再検討

- 集めた資料をもとに、レポート全体の構成（アウトライン）を検討する
- 集めた資料から、テーマをさらに絞り込んだり、考えなおしたり、再検討する

レポート作成のスケジュール

たとえば、2週間程度で書く場合は、次のようなスケジュールになる

1. 大まかなスケジュールを立てる (1日程度)
2. 話題 (テーマ) を絞り込み、レポートでの主張を決める (5～6日程度)
 - 資料を集めて整理する (3～4日程度)
 - 全体の構成やアウトライン (大まかな内容・骨組) を決める (1日程度)
3. レポートを執筆する (1週間程度)
 - 本文を書く
 - 表やグラフを作成する
4. レポートを推敲する (1日程度)
5. レポートを提出する

レポートの構成

たいていのレポートは「序論」「本論」「結論」の三部構成になっている。

- 序論「読む人に向けて、これから何について、なぜ書こうとするのかを知ってもらう」
 - 背景の説明: 前提となる知識や事実を紹介
 - 問題の提起: そのテーマのどこに問題点・疑問点を見つけたのか
 - 目的の提示: 何を明らかにしようとするのか
- 本論「問題提起したことへの答えを出す」
 - 事実の提示: 事実を明らかにする (複数の)
 - 意見の提示: 事実に基づく意見を述べる
 - 最終的な主張の提示
- 結論「全体を通しての主張をまとめる」
 - 全体のまとめ: これまで述べてきたことを整理し、最終的な主張の妥当性を確認してもらう
 - 評価と展望: 成果について客観的に評価し、今後どのように発展させるか

参考文献

- 南田勝也・矢田部圭介・山下玲子「ゼミで学ぶスタディスキル」, 北樹出版 (2011.04)
- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第3版」, くろしお出版 (2011.03)
- 中澤務・森貴史・本村康哲編「知のナビゲーター」, くろしお出版 (2007.04)
- 石坂春秋「レポート・論文・プレゼン スキルズ」, くろしお出版 (2003.03).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).
- 小笠原喜博「大学生のためのレポート・論文術」(講談社現代新書 1603), 講談社(2002.04).
- 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第3版」, 慶応義塾大学出版会 (2002.12).
- 泉忠司「90分でコツがわかる!『論文&レポート』の書き方」, 青春出版社 (2009.07).